



国民春闘共闘

第24号

2016年4月21日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

2016年春闘・第3回進ちょく状況調査

春闘後半戦！粘り強いたたかいで 回答引出し・ベア獲得すすむ

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は19日、加盟全単組を対象とした2016年春闘における第3回目の「春闘進ちょく状況」調査を実施し、19単産（2811組合）からの報告をまとめました。

1. 要求提出状況

2016年春闘における第3回進ちょく状況調査には別表の19単産から報告が寄せられました（JMITU通信産業本部分は、JMITUに含む）。交渉単位では2811組合となります。

このうち4月19日段階で要求提出が確認できた組合は1475組合（52.8%）となっています。単産別にみると要求提出100%の合同繊維、検数労連、全損保、郵政ユニオンに、全倉運（92.5%）、特殊法人労連（88.9%）、出版労連（77.7%）、民放労連（77%）、化学一般労連（76.7%）、JMITU（76.6%）、映演労連（72.7%）、日本医労連（64.3%）、金融労連（63.9%）と続いています。

前回調査（3月25日現在）から金融労連（28.3%増）、全農協労連（12.7%増）、建設関連労連（12%増）、民放労連（10.3%増）、生協労連（8.3%増）、福祉保育労（7.4%増）、出版労連（6.4%増）、化学一般労連（5.6%増）、建交労（5.3%増）、日本医労連（1.9%増）、JMITU、全印総連（各1.4%増）と各組織で提出率を伸ばし、全体で6.2%上昇しています。

前年同期（2015年4月20日現在）との比較では全体で12.2%下回っています。前年同時期に報告のなかった福祉保育労の状況が反映しているほか、生協労連、特殊法人労連が前年同期を上回り、合同繊維、検数労連、全損保、郵政ユニオンは前年同期同様に100%となっています。その他の単産は現時点では微減しています。

2. ストライキ権確立状況

調査組合（調査中の福祉保育労を除く）のうち、ストライキ権確立の確認が出来ているのは1047組合（47.3%）となっています。

全交渉単位でストライキ権を確立しているのは、前回調査と同じく検数労連、全損保、郵政ユニオンの3単産で、これに特殊法人労連（88.9%）、映演労連（81.8%）、合同繊維（80%）、建交労（69.8%）、日本医労連（56.5%）、JMITU（51.6%）と続いています。

前回調査時の1013組合（45.9%）から34組合・1.4%増加しており、単産別に見ると全倉運（7

組合・17.5 ㊦増)、民放労連 (10 組合・7.9 ㊦増)、日本医労連 (13 組合・2.8 ㊦増)、生協労連 (3 組合・2.1 ㊦増)、化学一般労連 (1 組合・1.1 ㊦増) で確立組合が増えています。

前年同期との比較では、全体では 2.7 ㊦下回っていますが、ストライキ権確立 100%の 3 単産で同率となっているほか、出版労連 (9 組合・10.3 ㊦増)、特殊法人労連 (3 組合・33.3 ㊦増)、映演労連 (2 組合・11.8 ㊦増)、化学一般労連 (2 組合・3.5 ㊦増)、合同繊維 (1 組合・20 ㊦増) の 5 単産で前年同期を上回っています。

3 月後半以降もストライキ配置して回答追い上げ、上積みをはかっている報告も寄せられており、要求にこだわったたたかいが進められていることが伺えます。

3. 回答引出し状況

要求提出した 1475 組合のうち、回答を引き出したのは 982 組合 (67.3%) となっています。検数労連、郵政ユニオンで引出し率 100%となっているのをはじめ、出版労連 (90.4%)、化学一般労連 (88.4%)、全印総連 (87%)、生協労連 (86.5%)、JMITU (82.9%)、日本医労連 (76.2%)、全倉運 (64.9%) など続いています。

4 月 6 日に全国港湾団交が決着し、翌日に初回回答、15 日に上積み回答を引き出した検数労連や回答指定日を 3 月 29 日に設定した全倉運、4 月 13 日に設定した映演労連などで回答が出始めた他、3 月 29 日～31 日の「交渉集中ゾーン」や 4 月 13 日～15 日の「統一行動ゾーン」も節目に各組織で追い上げがはかられました。

3 月 25 日の前回調査から福祉保育労 (32 組合 23.8 ㊦増)、建交労 (75 組合・20.8 ㊦増)、日本医労連 (65 組合・19.8 ㊦増)、JMITU (37 組合・17.5 ㊦増)、化学一般労連 (15 組合・16.5 ㊦増)、民放労連 (25 組合・16.4 ㊦増)、全農協労連 (21 組合・15 ㊦増)、生協労連 (17 組合・10.7 ㊦増) となるなど全体で 335 組合・16.9 ㊦上昇しています。

前年同期 (991 組合・60%) と比べ回答引出し率は 7.3 ㊦上回っています。全農協労連 (7 組合・20.8 ㊦増)、生協労連 (16 組合・17.9 ㊦増)、映演労連 (1 組合・12.5 ㊦増)、建交労 (11 組合・7.8 ㊦増)、JMITU (4 組合・1.2 ㊦増) では回答引き出し組合数、引出し率ともに前年同期を上回っています。

4. 回答内容

回答内容について見ると、<定昇あり>の職場 (571 組合) で「定期昇給+ベア」回答を引き出したのは 153 組合で回答組合中 26.8%となっています。新たに映演労連 (2 組合)、全倉運 (1 組合) から「定昇+ベア」獲得の報告が寄せられたほか、化学一般労連 (9 組合増)、JMITU、民放労連 (各 8 組合増)、日本医労連 (7 組合増)、生協労連 (4 組合増)、全印総連 (3 組合増)、全農協労連、建設関連、福祉保育労 (各 2 組合増) で獲得組合数を増やし、前回調査 (105 組合) から 48 組合増えています。前年同期 (169 組合・29.3%) との比較では 16 組合・2.5 ㊦下回っています。

「ベアゼロ・定昇のみ」回答は 417 組合・73%で、前回調査 (280 組合・72.4%) から 0.6 ㊦増加し、前年同期 (402 組合・69.8%) と比べ 3.2 ㊦増となっています。前回調査時に「定昇割れ」回答となっていた化学一般労連での 2 組合うち 1 組合は「定昇」を確保しました。

<定昇制度なし>の職場 (回答 349 組合) では、回答組合中 79.1%にあたる 276 組合が有額回

答を引き出しています。前回調査（186 組合・78.5%）から 90 組合・0.6 ㊦増え、前年同期（317 組合・87.8%）を 41 組合・8.7 ㊦下回っています。

建交労（51 組合）、全印総連（9 組合）、JMITU（8 組合）、化学一般労連、出版労連（各 2 組合）、金融労連（1 組合）の計 73 組合では「ゼロ回答」となっています。

5. 平均賃上げ額・率とベースアップ

平均賃上げ額の確認が出来ている 648 組合での単純平均（一組合あたりの平均）額は 5,078 円で、前回調査（5,020 円）から 58 円増え、前年同期（5,285 円）を 207 円下回っています。前年同期の水準を若干下回っているものの、前回調査から微増しており、春闘後半戦に入り追い上げを見せています。

平均賃上げ率は 384 組合の平均で 2.04%と前回調査（1.98%）から 0.06 ㊦上昇し、前年同期（2.03%）を 0.01 ㊦上回っています。

ベースアップ相当分の水準をみると、額揭示のあった 146 組合での単純平均額は 2,097 円となっています。前回調査（112 組合平均 2,072 円）から 25 円増となり、前年同期（159 組合平均 1,930 円）を 167 円上回っています。

6. ストライキ実施状況

4 月 19 日現在、208 組合（調査組合中 9.4%）から、のべ 296 回（同 13.4%）のストライキ実施の報告が寄せられております。

化学一般労連では三和ケミカル支部が 3 月 18 日と 30 日に 2 時間の時限ストライキを実施し、小野薬品支部でも 3 月 25 日にストライキを決行しています。民放労連では 4 回の時限ストライキに入る組合が出るなど 6 組合がストライキに立ち上がりました。

7. 妥結状況

現時点で妥結もしくは妥結方向となっているのは、要求提出組合の 20.7%にあたる 281 組合となっています。前回調査（65 組合・5.3%）から 216 組合・15.4 ㊦増えました。前年同期（316 組合・19.3%）とほぼ同水準となっています。

3 月後半から 4 月中旬にかけて妥結組合は大幅に増えましたが、依然として要求提出組合の 8 割弱、回答引き出し組合の 7 割強は交渉を継続しており、要求実現に執念をもってたたかいを進めている状況が伺えます。

STOP暴走政治、戦争法廃止！ 壊すな憲法
暮らしまもる共同で、賃上げと雇用の安定、地域活性化